

ブライダル衣裳の変遷

FIVESTAR WEDDINGのオリジナルブランド「THE LOVEL」が誕生して10年。

時代の変化とともにウエディングが多様化するなか、2023年には～brand new me(新しい自分に出会う)～をコンセプトとした新ブランド「BRANM(ブラン)」も誕生しています。



BRANM 1st Collection



2023

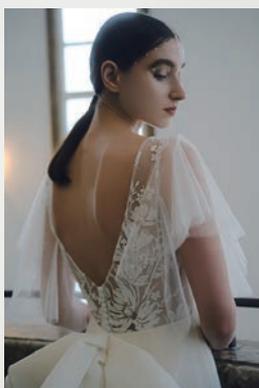
「THE LOVEL」というオリジナルブランドがリリースされて10周年を迎え、そして、こだわりが詰まった新ブランド「BRANM(ブラン)」をリリース。

～brand new me～「新しい自分に出会う」をコンセプトに、自身が今まで気付かなかった新たな自分を発見するようなファッションブルなドレスを提案。スタッフ向けの新作デザインコンペを公募し、その中から制作メンバーを発売。実際に花嫁様に触れるメンバーの希望を取り入れつつ新しいデザインを生み出しています。





THE LOVEL 9th Collection



2022

ウエディングのカタチが多様化し、オンライン結婚式やフォト婚などの選択肢も増えていくなか、「THE LOVELCOSTUME」は「他の人からどう見られるか」ではなく「花嫁様がどうありたいか」に焦点をあて、ブランドを再構築。

カラードレスはミカドやサテンをオリジナルのニュアンスカラーで染め、世界を照らすようなカラフルな色合いに仕上げました。

また、「ROH」は新しいコーディネートイメージを公開。時代に合わせて、グローバルなモデルを起用し、ハイブランドのカタログのような仕上がりになっています。

THE LOVEL 8th Collection



2020

パリ・ロンドンをはじめ、中東、アジアなど、世界中の最新のテキスタイルをセレクトして、カラーファブリックは日本人に馴染みの良い色に1から染めあげてオリジナルドレスをデザイン。2020年のコレクションはオリジナル和装もリリース。打掛だけでなく小物の一つ一つまで拘り唯一無二のスタイルにコーディネートいたしました。



THE LOVEL
7th Collection

ROH
EST.1972
2nd Collection



2018-2019

時を経ても変わらない“TIMELESS”な要素と、時代の変化と共に変わり続け“FOREVER MODERN”の要素を丁寧に融合した「W by THE LOVEL COSTUME」として歩み始めます。

THE LOVEL
6th Collection

ROH
EST.1972
1st Collection



2017

THE LOVELのレーベル「PLATINUM LABEL」「GOLD LABEL」に加え、「WHITE」を一新した、新たなレーベル「W-ダブリュー」をリリース。女性のココロをくすぐるようなフェミニンで、繊細なディテールにこだわったミニマルデザインが誕生しました。メンズブランドは新ブランド「ROH」をローンチ。Reconstruction Of History「歴史の再建」のコンセプトのもと、メンズフォーマルとしてあるべき姿を追求するオリジナルブランドが誕生しました。

2016 5th Collection

オリジナルブランドの5期目を迎え、1つの集大成としてリリースしたコレクション。ドレスはよりエレガントに、よりスイートに、女性らしさを引き立たせるデザインに。タキシードはより男らしさを表現するモードなデザインに。
人生最良のマリアージュという日に、「THE LOVEL」の衣裳が着たいと思っていただけけるような、モノづくり・ヒトづくりをこれからも行っていきます



2015 4th Collection



更なるブランディングの為にPLATINUM・GOLD・WHITEの3つのレベルに集約し、ドレスだけでなくオリジナルのシューズやアクセサリも製作を開始しました。英国皇室やセレブも愛用する帽子をデザインする世界的デザイナーMisaHarada氏のヘッドドレスは、花嫁様のコーディネート幅をより広げるアイテムに

2014 3rd Collection



1st Collectionからそれぞれの特性を生かしCIEL・JURER・LUSTRE・VERITE・CANDIDEの5レベルから成り立つドレスのブランドも更に磨きをかけ、華やかな正統派のドレスの人気もさることながら、ウエディングのトレンドとしてインポートテイストの軽やかなドレスの需要も高まりました

2013 2nd Collection



オートクチュールメゾンで18年以上の経験を持つHerve Moreau(エルベ・モロー)氏をゲストデザイナーに迎え、その経験によって培われた知識とデザイン力で、インポートを超えるクチュールドレスが誕生。あらゆる女性の美しさを余すことなく引き出す、360度あらゆる角度から美しく、しなやかで美しいライン。「THE LOVEL」はこれからのウエディングを先導する新しいブランドとして歩み出しました



2012 1st Collection

荘厳な大聖堂をイメージしてデザインした上質なサテン地と豪華な刺繍で作あげたエレガントなドレスは、時を経ても変わらない「THE LOVEL」の代表作のドレス。芸能人ブランドが人気を博すなか、他には無いオリジナルドレスで差別化を図る「THE LOVEL」が誕生





2011

桂由美など有名デザイナーとコラボレーションし、トレンド最先端ドレスをご提案しました。ヘムラインにボリュームを与えるふわりとしたお花が、独特のフォルムを作り出す量感溢れるマリエ



大輪のカトレアの花で飾りつけたシックな色合いなのに華やかさのあるソフレ。ドレスの切り替え線も花びらの形にカッティング

2010

ハイウエストで切り替えた、シンプルなシルエットのドレス。チェリーピンクの甘いカラーでありながらも、胸元に施したピーディングが大人を感じさせる



美しく見せるシルエットパターンに、シャイニースホワイトカラーとミクシングしたロングタキシード。マテリアルにスラブの節糸を織り込みそれを柄に見立てたグルームタキシード



2009



グリッターシャンタンに白のチュールレースを大胆に使い、人気のリボンをキュートに配置したドレス

黒地に紫暈しと大胆な金箔の桜で豪華さを施した色打掛に、ピンクの色掛下が控えめな華やかさを演出。ヘアも重くならない洋髪に大きい花飾りでバランスを



ブルーの濃淡でスカート部分にボリュームを出し、星柄グリッターの大きいリボンが大胆かつキュート



2008

ハイウエストから真っ直ぐ下りるソフト素材のエンパイアドレスと1枚めくるとミカド素材のマーメイド仕様の、贅沢なドレス。2Wayドレスは花嫁の夢を2度叶えられる秘かなトレンドに



2007

大胆なカーネーションのプリント柄ドレスに黒のグローブをコーディネート。斬新な発想が目を引くデザイン

2006

スパンコールを散りばめた艶やかなビスチェに、花びらのように重なるオーガンジーのフリル。格式ある空間にも映えるドレスが主流に



2005

和装の幅の広がりを感じさせる、オーガンジー素材の色打掛。モード系ヘアなど現代的スタイルにも似合う、遊び心いっぱいの着こなしが話題に



2002

イタリア語で1を表すUnoを名前に、自分自身のためのナンバーワンの美しさをプロデュースする「Uno PER Uno」。モデルであり女優である神田うのが手がけるブランドで、素材からデザイン、カッティングまで美への厳しいこだわりが感じられるコレクション



2001

いつの時代にも求められる“華やかな伝統美”。和装も、しっかりと用意



刺繍やリボンがあしらわれ、フェミニンなかわいらしさを演出

1997

本物志向の高まりを反映し、ヨーロッパの正装を取り入れたテールコートも男性婚礼衣裳の中で人気に



1990



肩のボリュームを少なくし、スッキリした上半身のラインとサテン地素材により、高級感を出したデザイン

1992

高級志向とともに、螺鈿箱の打掛も、一生に一度のシーンに相応しいと好評を博しました



ピカソのデザインを取り入れた、当時の和装としては珍しい斬新な衣裳

1985~

ウエディングパレス愛では、打掛・振袖・ウエディングドレスの3点がセットとなった4コースのパックプランを提供していました

